

学ぶ土台づくりの教材を 学習支援の共通課題解決への試み



学ぶ意欲と学びの土台づくりを楽しく!



困っている人を放っておけないのは、昔からの私の性分だけじゃないの。

まさかこんなナゾ子どもに出会うとは

困ったなあ！

名前も住所も分からないと…

困ったのはこつちだぞ

聞き取りのヒント

- ・どうやって食べる？
- ・オスとメスの違いは何？

音声ガイド アカゲラ



学びの土台からの支援が必要 団体共通の悩みに着目

「学校の課題以前に、学びの土台が不足していて、学びが積みあがらない。適した教材もなく支援に困っている」。助成事業を通して、全国の経済的困難を抱える子どもの学習支援団体とのつながりが生まれる中で見てきた団体共通の課題です。無料学習支援のパイオニア、認定NPO法人キッズドアとともに、団体共通のこの課題を解決する方策として、「学ぶ意欲」と「言葉の力」を育む教材を制作し、全国の非営利の学習支援団体への無償提供を始めました。

事業の背景

「怠けているわけではない」 学習以前の課題

経済的困難を抱える家庭では、教育の環境が整わなかったり、適切な支援が受けられなかったりするために、学力面での後れや、学ぶ意欲が低いことが多くあります。経済格差による学力格差の問題が認知されるにつれ、無料学習支援を行う団体が全国に増えてきました。

しての機能はもてても、なかなか学力の向上につながらないという団体共通の課題が浮かび上がりました。「怠けやさばり」ととられがちな学びへの意欲の低さも、その背景には「学び」の土台となる力の不足があるとみて、ベネッセこども基金の自主事業として、この課題に長年無料学習支援に携わっている認定NPO法人キッズドアと共に取り組みました。

学校

課題をやってこず怒られ意欲・自己肯定感減退。

「言われたこと」が理解できない。

学習

質問の意味がわからず課題が進まない。

できない体験を積み重ねてしまう。

支援者

学びが積みあがらない。宿題の前に行うことがあつたのでは…。

指導への手ごたえを感じられず、支援に自信が持てない。

対人関係

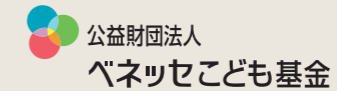
約束を忘れたり、気持ちを表現できず信頼を失いがち。

会話から大事なことを抜き取れない。



解決策

言葉の力を楽しく伸ばす教材を制作・無償提供へ



解決策となる教材案提供

制作支援

同様の課題を抱える団体への提供

中学生の生徒の様子の分析や、専門家へのヒアリングを通して、人の話を注意深く聞く、文章を読む、自分のことを伝えるなど、言葉やコミュニケーションの力の不足が、学びのつまずきに影響していることが見えてきました。この課題に適した市販教材がないことから、キッズドアが教材案を、ベネッセこども基金が制作支援をする形で、教材パッケージ化し、同様の課題を抱える団体へ無償提供することになりました。

Interview



認定NPO法人
キッズドア
執行役員
松見幸太郎



認定NPO法人
キッズドア
チーフコーディネーター
草野くる美

適した教材で、学びの意欲を自然に引き出す

認定NPO法人キッズドアは経済的困難を抱える子どもたちへの無料学習支援を15年にわたって行ってきました。当団体で出会う中学生の中には、言葉の力不足により、学年相応の教材での学習では難しすぎ、かといって小学生にさかのぼった教材では子どもの自尊心を傷つけ、学ぶ意欲も上がらないと

いう状況の生徒が多くいました。受験指導や学校の課題を頑張る前に、意識して人の話を注意深く聞く練習や、少し抽象度の高い語彙に出会い、「なんとなく知っている言葉」を楽しく増やしていける教材が、そのような方には必要だと日々感じており、この教材を制作するに至りました。

言葉の力アッププログラム 内容と特長

基本的な読む力、聞く力、語彙力に課題がある、受験指導前の中学生を主な対象とし、4つのステップで生徒の状況に合わせて学ぶ意欲と言葉の力を伸ばし、受験指導の素地を作ります。支援経験が少なくても学習者の学力や状況に

応じて効果的に指導できるよう、支援者向けの研修動画やマニュアルも提供しています。メインテキスト「言葉の力アップブック」は聞く力編と語彙力編の2部構成となっています。

教材構成

生徒用

4ステップで楽しく聞く力と語彙力を伸ばし、力の伸びを実感

STEP 1

事前アセスメント



STEP 2

聞く力編



STEP 3

語彙力編



STEP 4

事後アセスメント



指導者用

支援経験が少なくても効果的に指導

支援者研修動画



リスニング音声データ



支援者マニュアル (解答含む)



配布実績

全国の非営利学習支援団体のべ104団体約2700部

利用者の声

学習になかなか向かえない生徒も日本語の聞き取りやマンガなど、いつもと違う学習内容に興味を示し、比較的意欲的に取り組んでくれました。



1回15分とのことですが、なかなか15分ではできない子もいて、研修動画やマニュアルを参考にしたり、マンガを声に出して読んで演じたり、その子に応じて使っています。



『言葉の力アップブック』構成

「言葉の力アップブック」は1冊の中に「聞く力編」と「語彙力編」が入っています。



日常に直結した 聞く力編

聞く力編は言葉の力に特に課題のある生徒向けに、日常会話の音声聞き、必要な情報をメモを取る練習をします。

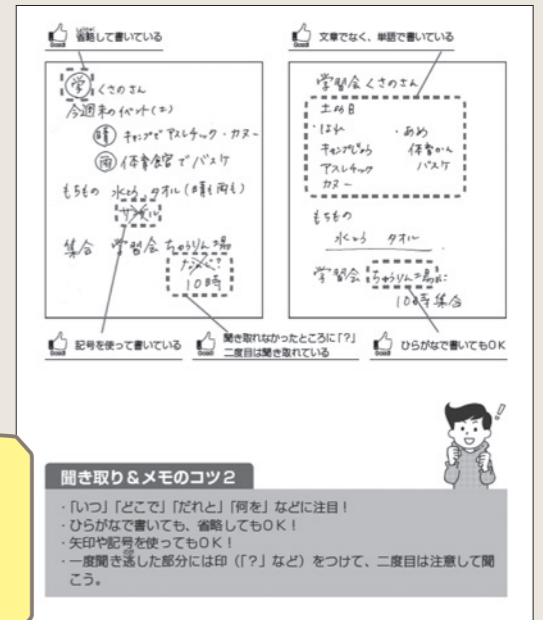
POINT 1

「イベントの案内」「友達と遊ぶための待ち合わせの約束」など、生徒自身の日常に近い内容にすることで、実践的な練習となるように留意。

POINT 2

日常にも使える注意深く聞くための「聞き取りポイント」を意識させ、メモを取るよう指導。

メモの取り方を真似したり、生徒の取ったメモを褒めたりすることに役立つ、メモの実例つきです。



マンガで語彙に出会い調べる経験を 語彙力編



語彙の獲得には日常的に多くの語彙に出会うことが重要ですが、マンガで語彙に出会うことは、読解に苦手意識のある生徒に効果的です。【語彙力編】は中学生で覚えておきたい語彙約60語が盛り込まれたマンガを読むことで、言葉の意味を確認しながら読む練習ができます。

POINT 1

受験につながる中学生で出会ってほしいや難しい語彙がちりばめられたオリジナルマンガ。

POINT 2

「分からない言葉は調べる」という学習行動の練習や指導ができるよう、語彙の意味2択問題や、辞書的なページを掲載。

今後は改善を加えつつ、より多くの同様の課題を抱える非営利団体に活用いただけるよう認知を広げ、効果の検証も進めていきます。また、経済的に困難な状況にある子どもたちの学習支援の現状を広く知らせる活動を行っていきたく考えています。

お申し込みに関する情報はこちら

学校の長期休みごとに、教材配布を受け付けています。

